

# 2020年12月期 第2四半期決算 参考資料

I サマリー情報	P.1
① 経営成績	P.1
② 財政状態	P.1
③ キャッシュ・フローの状況	P.1
④ 設備投資の状況	P.1
⑤ 非資金項目	P.1
II 2020年12月期 第2四半期実績	P.2
① 四半期損益計算書	P.2
② 製商品別売上高	P.4
③ 研究開発の状況	P.5
III 2020年12月期 業績予想	P.6
① 損益計算書	P.6
② 製商品別売上高	P.8

※ 本資料は累計期間に係る情報を掲載しており、百万円未満を切捨てして表示しております。

※ 本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。

2020年7月31日



鳥居薬品株式会社

# I サマリー情報

## ① 経営成績

2020年12月期 業績予想については、前回発表（2020年2月6日「2019年12月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」）の予想数値を修正しております。

(単位: 百万円)	2019年12月期 第2四半期 A	2020年12月期 第2四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	2019年12月期 実績	2020年12月期 修正予想 C	対予想 進捗率(%) B/C
売上高	20,684	19,857	△826	△4.0	42,998	40,900	48.6
営業利益	290	2,738	2,447	841.3	1,430	3,700	74.0
経常利益	402	2,903	2,500	620.9	1,691	4,000	72.6
四半期(当期)純利益	26,194	1,800	△24,394	△93.1	27,367	2,600	69.3
(参考)							
研究開発費	1,834	281	△1,552	△84.7	2,956	810	34.7
1株当たり四半期(当期) 純利益(EPS)	(円) 933.34	64.14	△869.20		974.98	92.60	
自己資本四半期(当期) 純利益率(ROE)	(%) 26.2	1.6	△24.6		27.3		
総資産経常利益率	(%) 0.3	2.2	1.9		1.4		
売上高営業利益率	(%) 1.4	13.8	12.4		3.3		
総資産四半期(当期) 純利益率(ROA)	(%) 20.8	1.4	△19.4		22.5		

## ② 財政状態

(単位: 百万円)	2019年12月期 A	2020年12月期 第2四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
総資産	139,943	124,734	△15,208	△10.9
純資産	113,125	114,112	986	0.9
自己資本比率	(%) 80.8	91.5	10.7	
1株当たり純資産(BPS)	(円) 4,029.30	4,063.07	33.77	

## ③ キャッシュ・フローの状況

(単位: 百万円)	2019年12月期 第2四半期 A	2020年12月期 第2四半期 B	増減額 B-A
営業活動によるキャッシュ・フロー	48,865	△5,595	△54,461
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,705	△649	△2,354
財務活動によるキャッシュ・フロー	△716	△716	△0
現金及び現金同等物の四半期末残高	65,508	51,856	△13,651

## ④ 設備投資の状況

(単位: 百万円)	2019年12月期 第2四半期 A	2020年12月期 第2四半期 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	2019年12月期 実績	2020年12月期 修正予想
設備投資額	107	211	104	97.4	330	662
有形固定資産	80	151	71	88.6	203	359
無形固定資産	26	60	33	123.7	126	303

## ⑤ 非資金項目

(単位: 百万円)	2019年12月期 第2四半期 A	2020年12月期 第2四半期 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	2019年12月期 実績	2020年12月期 修正予想
減価償却費	497	401	△95	△19.3	985	598
長期前払費用償却費	241	240	△0	△0.3	486	554

## Ⅱ 2020年12月期 第2四半期実績

### ① 四半期損益計算書

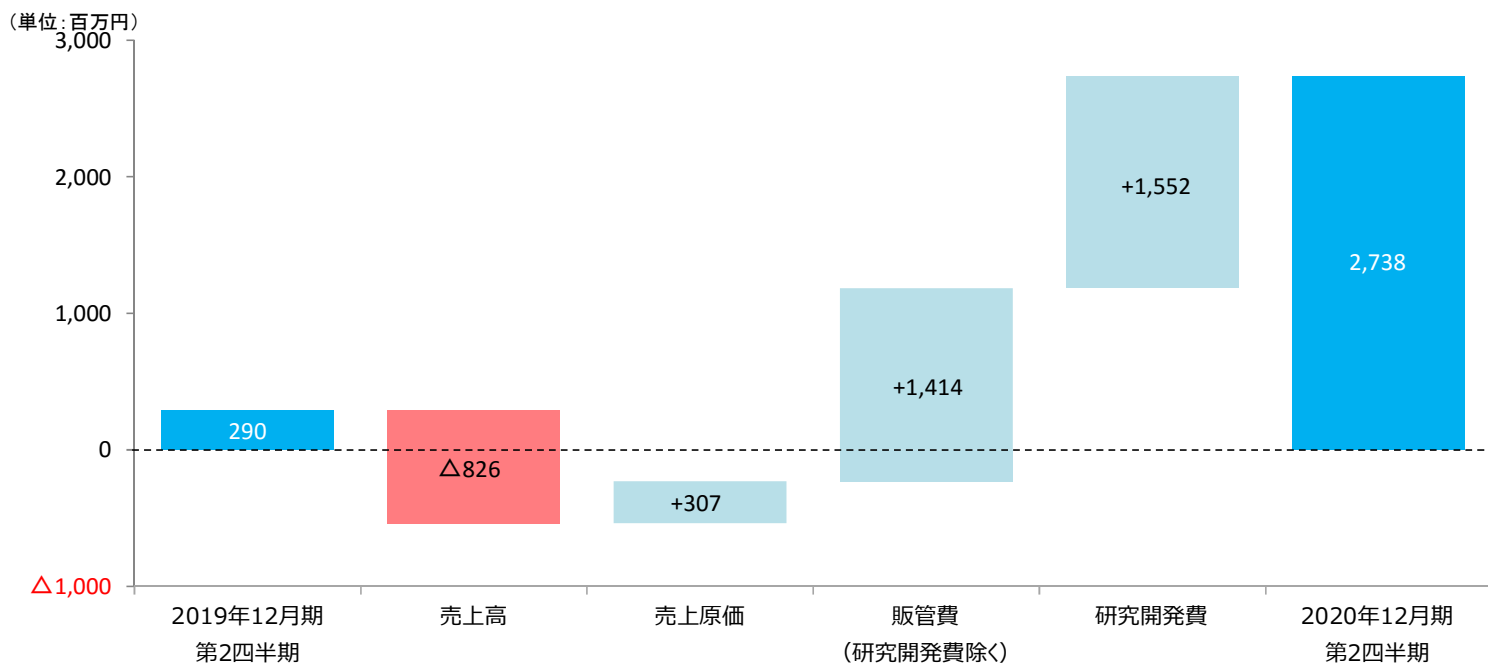
(単位:百万円)	2019年12月期	2020年12月期	増減額	増減率 (%)	2020年12月期	対予想 進捗率(%)
	第2四半期	第2四半期			修正予想	
	A	B	B-A	(B-A)/A	C	B/C
売上高	20,684	19,857	△826	△4.0	40,900	48.6
製商品売上高	19,280	19,453	173	0.9	40,300	48.3
腎・透析領域	8,965	7,217	△1,747	△19.5	14,790	48.8
皮膚疾患領域	4,562	4,483	△79	△1.7	9,500	47.2
アレルギー領域	2,942	5,001	2,058	70.0	10,900	45.9
その他	2,809	2,751	△58	△2.1	5,110	53.8
その他の売上高	1,404	404	△1,000	△71.2	600	67.3
売上原価	9,784	9,477	△307	△3.1	19,300	49.1
製商品売上原価	9,705	9,449	△255	△2.6		
その他の原価	79	27	△51	△65.0		
売上総利益	10,900	10,380	△519	△4.8	21,600	48.1
販売費及び一般管理費	10,609	7,642	△2,967	△28.0	17,900	42.7
販管費(研究開発費除く)	8,775	7,360	△1,414	△16.1	17,090	43.1
研究開発費	1,834	281	△1,552	△84.7	810	34.7
営業利益	290	2,738	2,447	841.3	3,700	74.0
営業外損益	111	164	52			
経常利益	402	2,903	2,500	620.9	4,000	72.6
特別損益	36,387	△774	△37,162			
税引前四半期純利益	36,790	2,128	△34,661	△94.2		
法人税等	10,595	327	△10,267			
四半期(当期)純利益	26,194	1,800	△24,394	△93.1	2,600	69.3

(参考) 売上高に対する比率

(単位:%)	2019年12月期	2020年12月期	増減
	第2四半期	第2四半期	
	A	B	B-A
売上原価	47.3	47.7	0.4
販売費及び一般管理費	51.3	38.5	△12.8
研究開発費	8.9	1.4	△7.5
営業利益	1.4	13.8	12.4
経常利益	1.9	14.6	12.7
四半期純利益	126.6	9.1	△117.5

【対前年同期増減要因】

営業利益 (2,738百万円 対前年同期 +2,447百万円)



主な増減要因

売上高	: アレルゲン領域の伸長による増加、薬価改定による減少 抗HIV薬流通経過措置の終了による手数料収入の減少 ※製商品別売上高の増減については次頁をご参照ください。
販管費 (研究開発費除く)	: 前期実施の事業構造改革 (人員数最適化) による減少
研究開発費	: 前期実施の事業構造改革 (機構改革) による減少、共同開発費用の減少 (JTT-751、JTE-052)

経常利益 (2,903百万円 対前年同期 +2,500百万円)

特記事項: 特になし

四半期純利益 (1,800百万円 対前年同期△24,394百万円)

前期 抗HIV薬販売権の返還に係る譲渡益	40,614百万円
事業構造改革費用(割増退職金等)	4,224百万円
当期 事業構造改革費用(佐倉工場譲渡損失見込等)	765百万円

## ② 製商品別売上高

(単位: 百万円)	2019年12月期 第2四半期 A	2020年12月期 第2四半期 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
製商品売上高	19,280	19,453	173	0.9
[腎・透析領域]				
リオナ錠	3,190	3,136	△54	△1.7
高リン血症治療剤				
レミッチ	4,334	3,123	△1,210	△27.9
経口そう痒症改善剤				
ケイキサレート ※1	948	849	△98	△10.4
高カリウム血症改善剤				
その他	492	108	△383	△77.9
計	8,965	7,217	△1,747	△19.5
[皮膚疾患領域]				
アンテベート ※1	2,750	2,588	△162	△5.9
外用副腎皮質ホルモン剤				
ロコイド ※1	858	842	△16	△1.9
外用副腎皮質ホルモン剤				
ゼフナート	678	638	△39	△5.8
抗真菌薬				
コレクチム軟膏 ※2	—	176	176	—
外用ヤヌスキナーゼ (JAK) 阻害剤				
その他	274	237	△36	△13.4
計	4,562	4,483	△79	△1.7
[アレルギー領域]				
シダキュア スギ花粉舌下錠 ※1	952	2,678	1,726	181.2
スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬				
ミティキュア ダニ舌下錠 ※1	1,089	2,079	990	90.9
ダニアレルギーのアレルゲン免疫療法薬				
その他	900	242	△657	△73.0
計	2,942	5,001	2,058	70.0
[その他]				
ビオスリー	1,343	1,392	49	3.7
活性生菌製剤(整腸剤)				
その他	1,466	1,358	△107	△7.3
計	2,809	2,751	△58	△2.1

※1 自社品

※2 「コレクチム軟膏」は2020年6月より販売しております。

### (参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位: 百万円)	2019年12月期 第2四半期 A	2020年12月期 第2四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
自社品売上高	8,768	10,413	1,644	18.8
自社品比率 (%)	45.5	53.5	8.0	—

### ③ 研究開発の状況

開発番号 「製品名」	予定適応症等	剤形等	開発段階（国内）					備考
			Phase I	Phase II	Phase III	申請	承認	
<b>腎・透析領域</b>								
JTT-751 「リオナ錠」	鉄欠乏性貧血	経口剤					申請	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Keryx Biopharmaceuticals, Inc.と日本における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結</li> <li>・日本たばこ産業(株)との共同開発（適応追加）</li> <li>・日本たばこ産業(株)が2014年1月に高リン血症治療剤として製造販売承認を取得し、当社より販売中</li> <li>・日本たばこ産業(株)が2020年5月に効能追加に係る承認事項一部変更承認申請</li> </ul>
JTZ-951	腎性貧血	経口剤					申請	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本たばこ産業(株)創製化合物</li> <li>・日本たばこ産業(株)と日本における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結</li> <li>・日本たばこ産業(株)が2019年11月に製造販売承認申請</li> </ul>
<b>皮膚疾患領域</b>								
JTE-052 「コレクテム軟膏」	小児アトピー性皮膚炎	外用剤					申請	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本たばこ産業(株)創製化合物</li> <li>・日本たばこ産業(株)と日本における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結</li> <li>・日本たばこ産業(株)が2020年5月に製造販売承認申請等</li> </ul>
<b>アレルギー領域</b>								
TO-203 「ミティキュア ダニ舌下錠」	室内塵ダニアレルギー疾患 (アレルギー性喘息) (アレルギー免疫療法薬)	舌下錠			Phase II / III 終了※			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALK-Abelló A/Sと日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結</li> <li>・自社開発</li> <li>※今後の開発方針について検討中</li> </ul>

前回公表時（2020年4月30日）からの変更点

- ・日本たばこ産業(株)によるJTT-751「リオナ錠」（鉄欠乏性貧血）の効能追加の承認申請
- ・日本たばこ産業(株)によるJTE-052（小児アトピー性皮膚炎）の国内製造販売承認申請等

上記のほか、以下の契約を締結しております。

- ・2020年1月 日本たばこ産業(株)がDermavant Sciences GmbHと日本における皮膚疾患領域での独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結したアリル炭化水素受容体（AhR）モジュレーター（tapinarof）について、日本における共同開発及び販売に関する契約（日本たばこ産業(株)との共同開発）

（参考）

- ・2017年10月に日本たばこ産業(株)が、EirGen Pharma Limitedと慢性腎臓病患者における二次性副甲状腺機能亢進症（SHPT）治療薬であるcalcifediol徐放製剤（米国での販売名「RAYALDEE®」、OPKO Health, Inc.が開発及び販売）について、日本における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結した旨、また、製造販売承認取得後の販売については、当社が行う予定である旨、公表しております。

当社の親会社である日本たばこ産業(株)（うち医薬事業部門）とは、医薬品に関する製品及びサービスにおいて、各々の強みを生かし、当社は主に製造と販売の機能を担っており、親会社は研究開発の機能を担っております。なお、親会社の研究開発の状況は、日本たばこ産業(株)ウェブサイト上の「医療用医薬品臨床開発状況」をご参照ください。

<https://www.jti.co.jp/investors/library/business/briefing/index.html>

### Ⅲ 2020年12月期 業績予想

2020年12月期 業績予想については、前回発表（2020年2月6日「2019年12月期 決算短信（日本基準）（非連結）」）の予想数値を修正しております。

#### ① 損益計算書

(単位:百万円)	2020年12月期	2020年12月期	修正額	2019年12月期	増減額	増減率 (%) (B-C)/C
	前回予想	修正予想		実績		
	A	B	B-A	C	B-C	
売上高	41,600	40,900	△700	42,998	△2,098	△4.9
製商品売上高	40,980	40,300	△680	40,641	△341	△0.8
腎・透析領域	14,870	14,790	△80	18,005	△3,215	△17.9
皮膚疾患領域	9,290	9,500	210	9,049	450	5.0
アレルギー領域	11,050	10,900	△150	7,627	3,272	42.9
その他	5,770	5,110	△660	5,959	△849	△14.3
その他の売上高	620	600	△20	2,356	△1,756	△74.5
売上原価	20,000	19,300	△700	20,702	△1,402	△6.8
売上総利益	21,600	21,600	—	22,295	△695	△3.1
販売費及び一般管理費	18,600	17,900	△700	20,864	△2,964	△14.2
販管費（研究開発費除く）	17,600	17,090	△510	17,907	△817	△4.6
研究開発費	1,000	810	△190	2,956	△2,146	△72.6
営業利益	3,000	3,700	700	1,430	2,269	158.6
経常利益	3,300	4,000	700	1,691	2,308	136.4
当期純利益	2,100	2,600	500	27,367	△24,767	△90.5

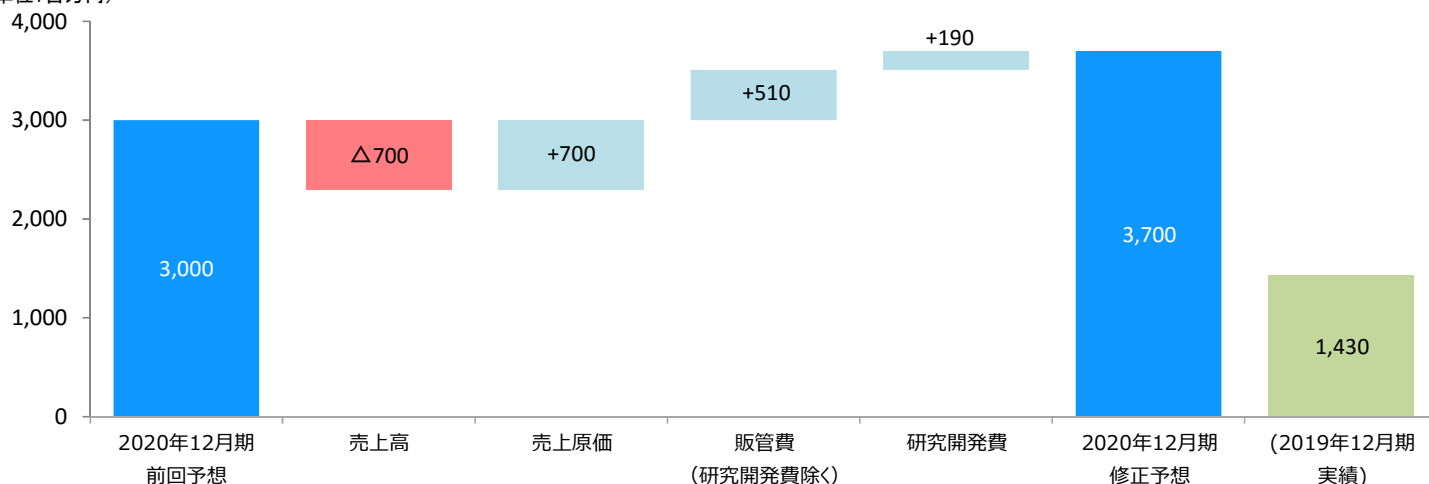
#### (参考) 売上高に対する比率

(単位:%)	2020年12月期	2020年12月期	増減	2019年12月期	増減
	前回予想	修正予想		実績	
	A	B	B-A	C	B-C
売上原価	48.1	47.2	△0.9	48.1	△0.9
販売費及び一般管理費	44.7	43.8	△0.9	48.6	△4.8
研究開発費	2.4	2.0	△0.4	6.9	△4.9
営業利益	7.2	9.0	1.8	3.3	5.7
経常利益	7.9	9.8	1.9	3.9	5.9
当期純利益	5.0	6.4	1.4	63.6	△57.2

【2020年12月期 対前回予想増減要因】

営業利益 (3,700百万円 対前回予想+700百万円)

(単位:百万円)



主な増減要因

売上高	: 佐倉工場譲渡による受託製造売上高の減少等 ※製商品別売上高の増減については次頁をご参照ください。
売上原価	: 売上高の減少
販管費 (研究開発費除く)	: 新型コロナウイルス感染拡大防止対応 (MRの医療機関への訪問自粛等) 等による販売費の減少
研究開発費	: 共同開発費用 (JTE-052) の減少

経常利益 (4,000百万円 対前回予想+700百万円)

特記事項: 特になし

当期純利益 (2,600百万円 対前回予想+500百万円)

当期 事業構造改革費用(佐倉工場譲渡損失等)	765百万円
法人税等の減少(減損損失の損金算入等)	700百万円



② 製商品別売上高

(単位:百万円)	2020年12月期 前回予想 A	2020年12月期 修正予想 B	修正額 B-A	2019年12月期 実績 C	増減額 B-C	増減率 (%) (B-C)/C
製商品売上高	40,980	40,300	△680	40,641	△341	△0.8
[腎・透析領域]						
リオナ錠	6,620	6,700	80	6,630	69	1.0
高リン血症治療剤						
レミッチ	6,350	6,270	△80	8,693	△2,423	△27.9
経口そう痒症改善剤						
ケイキサレート ※1	1,810	1,700	△110	1,907	△207	△10.9
高カルウム血症改善剤						
その他	90	120	30	773	△653	△84.5
計	14,870	14,790	△80	18,005	△3,215	△17.9
[皮膚疾患領域]						
アンテベート ※1	4,920	5,080	160	5,439	△359	△6.6
外用副腎皮質ホルモン剤						
ロコイド ※1	1,490	1,560	70	1,630	△70	△4.3
外用副腎皮質ホルモン剤						
ゼフナート	1,360	1,380	20	1,454	△74	△5.1
抗真菌薬						
コレクチム軟膏 ※2	1,070	1,000	△70	-	1,000	-
外用ヤススキナーゼ (JAK) 阻害剤						
その他	450	480	30	524	△44	△8.5
計	9,290	9,500	210	9,049	450	5.0
[アレルギー領域]						
シダキュア スギ花粉舌下錠 ※1	6,340	5,920	△420	3,654	2,265	62.0
スギ花粉症のアレルギー免疫療法薬						
ミティキュア ダニ舌下錠 ※1	4,150	4,460	310	2,749	1,710	62.2
ダニアレルギーのアレルギー免疫療法薬						
その他	560	520	△40	1,223	△703	△57.5
計	11,050	10,900	△150	7,627	3,272	42.9
[その他]						
ビオスリー	2,990	3,040	50	2,843	196	6.9
活性生菌製剤(整腸剤)						
その他	2,780	2,070	△710	3,115	△1,045	△33.6
計	5,770	5,110	△660	5,959	△849	△14.3

※1 自社品

※2 「コレクチム軟膏」は2020年6月より販売しております。

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2020年12月期 前回予想 A	2020年12月期 修正予想 B	修正額(率) B-A	2019年12月期 実績 C	増減 B-C	増減率 (%) (B-C)/C
自社品売上高	21,600	20,820	△780	19,068	1,751	9.2
自社品比率 (%)	52.7	51.7	△1.0	46.9	4.8	-